

報告タイトル

中国の政治コミュニケーションにおけるソーシャルメディア利用：党報 Weibo の比較分析から
Utilization of social media in political communication in China: A comparative analysis of
official accounts of party papers

氏名（所属）

于 海春（北海道大学）
Haichun Yu（Hokkaido University）

要旨（800 字程度）

2010 年代以降、中国では、人民日報をはじめとする党報が、ウェイボー（Weibo）・ウィーチャット（Wechat）・オンラインニュース端末（中国語「兩微一端」と呼ばれる）を通じた情報発信に注力し、その影響力の向上を図っている。本報告の目的は、量的テキスト分析を通じて、人民日報や地方の党報が Weibo を通じて行った政治コミュニケーションの特徴と変化を明らかにすることである。

先行研究では、習近平政権発足後の中国の政治権力構造の変化が地方党報の記事に反映されていること、地方党報によって報道内容の違いがあることが指摘されている。本報告では、先行研究を踏まえ、中央と地方の党報がソーシャルメディア上で発信する内容を分析することで、Weibo を通じた党機関紙の政治的発信の特徴と変化を見出す比較の視点を導入した。具体的には、2013 年から 2023 年にかけて、人民日報と地方紙 10 紙の Weibo 公式アカウントの Weibo 書き込み内容に対して量的テキスト分析を行った。半教師あり学習の手法を用いて分析を行った結果、以下の 3 つの発見が得られた。第一に、権力構造の変化は党機関紙の書き込みに反映されている。第二に、中国共産党の正統性を宣伝する論理が外部環境の変化とともに変化し、経済発展よりも国家安全が重視される傾向にある。第三に、党報によつての Weibo 書き込みにける宣伝論理にも違いが見られる。本報告の発見は、中国のデジタル時代における権威主義政権の政治コミュニケーションの変化について実証的データから示唆を与えるものである。